

# Monthly Letter



地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(平成27年度～平成31年度)  
『地域創生の担い手を育み活気あるふくいを創造する5大学連携事業』  
福井大学・福井県立大学・福井工業大学・仁愛大学・敦賀市立看護大学



## 原子力技術 分野WG

## 東京電力福島第1、第2原子力発電所を続けて視察！

平成30年7月25日～27日、福井大学工学部の学生・大学院生、海外研修生、引率教員の11名が、東京電力福島第1および第2原子力発電所(福島県大熊町・双葉町)の視察をしました。

東京電力福島第1原子力発電所では、1号炉から4号炉までの原子炉建屋および多核種除去設備(汚染水中の放射性物質を取り除く設備)を中心にバスの中から視察しました。参加した学生からは、汚染水を貯蔵するタンクで地上が埋め尽くされている光景などが印象に残ったようでした。



福島第2原子力発電所の構内は、基本的に徒歩で視察を実施しました。

2011年の東日本大震災の際、福島第2原子力発電所は、福島第1原子力発電所と異なり、水素爆発による原子炉の破壊が起きませんでした。これは外部からの電源供給が保たれており炉内の冷却ができたためです。今回の視察では、電力供給を一時的に失った際の対策も視察することが出来ました。今回の視察は、これら両原子力発電所を同時に訪れるという貴重な機会であり、それぞれの発電所の違いを明確に理解することが出来ました。

今後、原子力関連分野で活躍する学生にとって有意義な視察でした。

(福井大学 学術研究院工学系部門 原子力安全工学分野 講師 松尾 陽一郎先生より寄稿いただきました)

## 高大接続・高大連携・ 入試改革WG

## 福井県内高校出身者の県内5大学入学者数の追跡調査

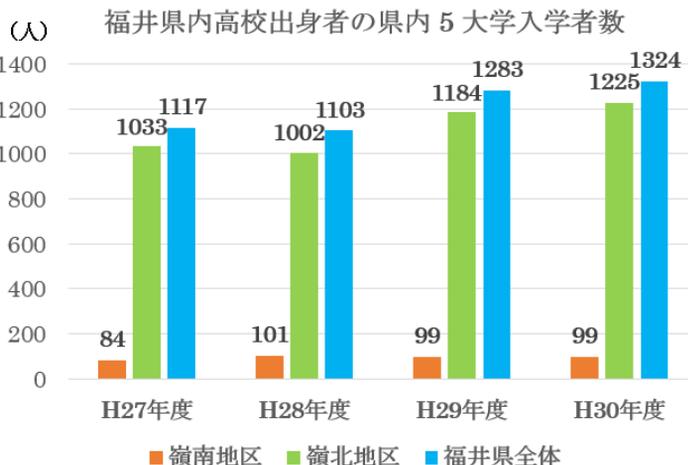
高大接続・高大連携・入試改革WGでは、平成27年度から県内5大学の入試関係者の協力により地元の入学者の確保対策として、高大接続・高大連携での事業を改善しながら入試改革に向けた取り組みを行っています。

具体的には5大学による合同進学説明会や高校と大学関係者によるシンポジウムや探究プロジェクト、模擬講義、開放講義等を実施しています。

当WGが設立して3年経過した時点での県内高校出身者の県内5大学入学者数の追跡調査を行った結果をグラフに示しました。このグラフから分かるように福井県全体のH28年度からH30年度の入学者数が右肩上がりで見られ、これらの取り組みの成果が徐々に現れています。

今後、嶺南地区の高校を対象としたイベント等を実施して当地区からの入学者数増加に繋がりたいと考えています。

(福井大学 アドミッションセンター 教授 大久保貢先生より寄稿いただきました)



留学生定着WG、福井大学留学生会、若狭高浜観光協会の3者協同により、8月7日～8日の2日間、高浜町の若狭和田ビーチにて第16回国際交流サマーキャンプを実施しました。これは、留学生に福井の良さや名所等を紹介して福井を好きになってもらい県内定着につなげたい留学生定着WGと、例年実施の国際交流キャンプで利用してきた国見岳キャンプ場の閉鎖により新たなキャンプ地を求めていた福井大学留学生会、そして、アジアで初の国際環境認証「BLUE FLAG」を取得した若狭和田ビーチへの外国人観光誘客推進のため民宿の外国人客対応力強化に留学生を招致したい若狭高浜観光協会、これら3者のニーズがマッチして実現したものでした。



初日に、素晴らしいビーチでの海水浴とスイカ割りや花火などを楽しみ、初めての民宿宿泊体験を満喫した留学生らは、2日目のワークショップでは、英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語による案内表示の作成、施設や接客面の改善提案や助言等を行い、民宿関係者にもご満足いただきました。ほとんどの留学生から、海がとてもきれいで良かったという声が聞かれ、ビーチや街のきれいさ、自然環境の良さを指摘する声、民宿の料理や接客、人の優しさをほめる声なども聞かれ、みんな大満足のキャンプでした。

（福井大学 国際センター教授 虎尾 憲史先生より寄稿いただきました）



【学生・教職員の皆さん】  
県域を越えて、他大学の学生・教職員と交流しよう！

## はばたけ地域創生士！サミットのご案内

日程： 平成30年11月13日(火)、11月14日(水)  
会場： 福井県県民ホール(AOSSA8階) 参加費： 無料(要事前申込)  
詳細： <http://www.allfukui-cocp.jp/event/entry-199.html>

WEBお申込はこちら



ふくいCOC+活動は、県内4年制大学の教職員と学生が中心となり、県内を活動の場として推進されてきました。しかし、県内という閉じられた地域での活動だけでなく、他の地域を知ることによって、より大きな展開が可能となると考え、全国の他大学が福井へ集まりサミットを開催します。詳細は、10月号でお知らせいたします。乞うご期待！！

お問合せは、福井大学COC推進室(coc-p@ml.u-fukui.ac.jp)まで

【学生の皆さん】  
福井の製造業が優秀なわけを探ろう！

## QCサークル(小集団改善活動)体験事例発表大会のご案内

日時： 平成30年11月20日(火)9:20-17:00 会場：福井県自治会館  
参加費： 学生1,000円(昼食、要旨集込み、一般参加費6,000円のところ、学生優待あり)

福井の製造業が高い品質を誇っている背景に「小集団改善活動」があります。企業が連携をとりながら、顧客満足、メンバーの能力向上、活力ある職場作りを目指して行う、50年以上の歴史がある取り組みです。職場の「品質」、「コスト」、「納期」などの職場の諸問題について小グループを結成し、力を合わせて解決しています。

この大会は、県内の企業が取り組んだ「小集団改善活動」を発表し、ともに成長していこうという場です。参加することで、「改善活動による人の成長を実感する」ことができます。「特別講演」も企画していますので、是非、この機会に参加してみてください。

お問合せは、QCサークル福井地区事務局(株)福井村田製作所 第1コンデンサ品質保証部品質保証3課(満月さより TEL:0778-21-8315)まで

## 編集後記

COC+は、4年目の秋を迎えました。西日本地区を中心に大きな被害をもたらした台風21号が去った後、日中は真夏の暑さがまだまだ残りますが、朝夕は随分涼しくなりました。今月号のマンスリーレターは、夏休み期間を利用した視察やキャンプなど学生の顔が見える活動が満載でした。これらの活動が次ぎに繋がることを期待したいと思います。11月のサミットの準備も本格的に開始しました。(小林)

